

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 02 月 04 日作成)

小委員会名	テンション構造小委員会		主 査 名： 岡田 章 就任年月： 2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)		委員長名： 和田 章 主 査 名： 大森 博司
設 置 期 間	2008 年 4 月 ~ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・ケーブル構造の現行ディテール設計手法に関して調査と分析・評価を行う。 (1) 既往の接合部の設計手法の整理 (2) 上記、分析・評価軸の作成と検討対象建物の絞り込み (3) ディテールの設計手法や設計クライテリアなどに関する分析・評価 (4) ディテールの設計手法の整理と問題点の分析		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無： 無		
	岡田章(主査：日本大学)，宮里直也(幹事：日本大学)，形山忠輝(日本鑄造)，斎藤公男(日本大学)， 齊藤嘉仁(太陽工業)，杉内章浩(竹中工務店)，田畑博章(大林組)，陳沛山(八戸工業大学)，中島肇(清水建設)， 浜崎勇二(神鋼鋼線工業)，原田公明(日建設計)，樋口聡(鹿島建設)，廣瀬一正(川口金属工業)， 細沢治(大成建設)，矢島卓(東京製綱)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2008 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 委員会での議論を通じ、既往の接合部の設計に関する問題点が整理できた。 2. 問題点の分析・評価軸の作成と検討対象建物の絞り込みは、作業途中である。 3. ディテールに関する設計手法、設計クライテリアに関しては、整理、問題点の分析、評価の作業途中である。
委員会活動の問題点・課題	1. 委員会での全員出席の機会が作れない。